

えていきそうなもやもやした気持ちをずっと抱えていたので、とても嬉しく感じられた。この経験が今でも地元の甲虫相の調査を細々と続けている大きな原動力となっている。

平野さんとはその後も、鞘翅学会、甲虫学会の総会の度にお会いした。いつも笑顔で「面白い虫はいましたか？」と話しかけてくださるのが常だった。お世話になったことも数知れない。また、まだ中高生と思われる虫屋の言葉遣いを、穏やかながらも毅然と、きちんと指導される姿を目にしたこともあった。教育者としても素晴らしい方で、私も見習いたいと思った。

こうして振り返ると、虫に関する知識はもちろんのこと、人間としての懐の深さも、私にはどうして及ばない人物だったと改めて気づかされる。追いつけないもどかしさを感じるばかりだが、残された者としては教を胸に、歩みを止めることなく、自分にできることを少しずつ形にしていくなかと思っています。

追記 この小文を記すにあたり、当時作成したバインダーを見直していたところ、「地域ファウナ分科会」のレジュメが出てきた。3ページあるレジュメの1ページ目をここにあげておく。当時の筆者による手書きの加筆が見苦しいが、ご容赦願いたい。科の名称、および所属する上科に隔世の感がある。

参考文献

- 平野幸彦, 1987. 県別に甲虫は何種いるか。月刊むし, (201): 28-31.
 平野幸彦, 1992. 神奈川県甲虫は何種生息しているか。神奈川県報, (100): 41-57.
 平野幸彦, 1995. 地域別に甲虫は何種いるか。月刊むし, (296): 23-27.

昭和47年11月現在(平野幸彦作成)

科名	種数	属数	備考
(ナガヒラタムシ上科)	(3)		
ナガヒラタムシ科 Cupodidae	2		
ナガヒラタムシ科 Micromalthidae	1		
(オウムシ上科)	(442)	(116)	
セムシ科 Rhysodidae	5		
ヒガトヤムシ科 Passidae	1		
カワゴロムシ科 Omophoridae	1		
ハシヨウ科 Cicadidae	10		
オウムシ科 Carabidae	376	9.8	2位
ムシクシ科 Brachinidae	4		
コガシラミズムシ科 Halphidae	5		
コガシラミズムシ科 Nouridae	1		
ゲンゴロウ科 Dytiscidae	32		
ミズスマシ科 Gyrinidae	7		
(ツブミズムシ上科)	(1)		
ツブミズムシ科 Tenebrionidae	1		
(ガムシ上科)	(45)	(12)	
ダルマガムシ科 Hydraenidae	3		
マルドコムシ科 Curculionidae	1		
セムシガムシ科 Helophoridae	1		
ガムシ科 Hydrophilidae	40	1.0	
(エンマムシ上科)	(62)	(16)	
エンマムシ科 Symmetidae	1		
エンマムシ科 Histeridae	61		
(ハネカクシ上科)	(695)	(180)	
ムシクシ科 Psephenidae	12		
タマキノコムシ科 Leiodidae	37		
ヒガトヤムシ科 Colodidae	3		
ヒガトヤムシ科 Campidae	21		
ツブミズムシ科 Agathidae	2		
シダムシ科 Silphidae	16		
ハネカクシ科 Sapthidae	488	12.7	1位 ++
アリクシ科 Psyllidae	76	2.0	+
ニセマキムシ科 Daneridae	1		
コケムシ科 Scydmaenidae	6		
アオキノコムシ科 Scaphidae	33		
(マルハナノミ上科)	(20)		
タマキノコムシ科 Clambidae	4		
マルハナノミ科 Eucnemidae	1		
マルハナノミ科 Helodidae	14		
ニセマルハナノミ科 Declinidae	1		
(ナガヒラタムシ上科)	(1)		
ナガヒラタムシ科 Rhysodidae	1		
(コガシラミズムシ上科)	(156)	(41)	
コガシラミズムシ科 Lucanidae	15		
コガシラミズムシ科 Troglidae	4		
センタコガシラミズムシ科 Geotrupidae	4		
コガシラミズムシ科 Scarabaeidae	133	3.5	2.7

昭和47年11月現在(平野幸彦作成)

地域ファウナ分科会レジュメ。

お知らせ・会務報告

大阪例会・名古屋例会・東京例会に関するお知らせ

日本甲虫学会では、毎年12月に大阪例会と東京例会を開催しています。しかし、今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の恐れを考慮し、東京例会を中止とさせていただきます。ご了承ください。ご了承ください。大阪例会につきましては、12月12日(土)に「大阪例会。オンライン研究発表会の視聴」との変則的な形で開催することになっています(注、11月下旬時点でのご予定です。今号が会員の皆様に配送される時点では、事後報告扱いになります)。

なお、例年3月に開催している名古屋例会と東京例会につきましては、開催の有無、日程、場所等、現時点では全て未定です。さらに、開催する場合でも、人数を制限する、体調不良の方の参加をお断りする、または懇親会を行わない等の措置をとる場合がございます。詳細につきましては、決まり次第、学会 website にて告知します。会員の皆様におかれましては、各自でご確認いただけますよう、お願いいたします。

(大阪例会・名古屋例会・東京例会運営幹事)